

## 普仙寺だより

<<

>>

第172号 平成21年11月



平成21年10月13日 第38回東海詠唱大会  
大垣市民会館で成果発表をする普仙寺吉水講講員

### 第38回東海詠唱大会

去る10月13日、大垣市民会館で開催された、第38回詠唱東海大会に参加し、「冬の御詠歌」をお舞をつけて発表しました。

#### 舞

西郷 嘉寿美、岡田 さとえ、谷山 八千代、加藤 桂子

#### 詠題

岡田 チエコ

#### お唱え

神山 和子、杉浦 志づゑ、岡田 里見、岡田 命恵、鈴木 とめ、  
白井 勝子、黒柳 花子、牧野 せい子、牧野 まつゑ、牧野 恵子、  
谷山 きく、小林 みち子、藤田 みち枝、杉浦 幸子、杉浦 きく子、  
牧野 正代、柴田 佳恵、加藤 良光

#### 見学

谷山 勝昭、西郷 允俊、杉浦 達埜

(敬称略)

### 800年前の法然上人

今から800年前、承元三年(西暦1209年)の11月、法然上人の周辺ではどのような事があったのでしょうか。  
法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、2年前の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。

同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に留まることとなりました。

800年前の今月をもって、法然上人は、勝尾寺に居られること1年11ヶ月になりました。

## 住職の短歌

住職加藤良光は、折に触れ短歌を詠んでいます。  
昨年の秋から今年にかけての短歌を掲載します。

### 広島平和記念資料館に行きて読める歌七首

平和とは記念とすべきことなるか資料館の名前訝し  
広島の平和記念の資料館観覧券と印刷の文字  
広島は軍都と呼ばれし町なりき富国強兵日本帝国  
十三万の人即死広島の八月六日虐殺の朝  
熱傷の写真数多展示あり被害の人のその後は如何  
放射能見えぬ汚染の被害あり思ひ願ふは医療の進歩  
原爆を理解認識せることはひとりひとりが背負ふ誓願  
広島の平和念仏法要に宗務総長非戦を誓ふ  
平和への宣言文の草稿に加わる私の責務を思ふ

### 津山市の高野神社を参りて詠める歌一首

漆間家のゆかりの神社ひとり来て杏葉紋の妻飾り見る

### 塩飽島を訪ひて詠める歌三首

塩飽島祖師の遺跡専称寺御堂前にて念仏一会  
来迎寺本堂前に分身の巡錫記念旗二本あり  
塩飽島出港までに一時間思ひ直して阿弥陀寺参る

### 映画「私は貝になりたい」を観て作る歌一首

戦争の犯罪者とは誰のこと町の理髪師村の先生

### ミュージカル「南十字星」を観て作る歌一首

ミュージカルその名も南十字星インドネシアと日本人とは  
知恩院の和順会館別れの日名残を惜しみ段に佇む  
赤もみぢ黄色もみぢの知恩院今年の秋は会ふ人多し  
この秋の最後の夜の知恩院ライトアップの三門を見る  
冬枯れの滋賀の田畑を眺めつつ培ふ人の姿を思ふ

修行僧念仏の声長く引く成満式の知恩院の朝

満堂の木魚の音の響く中祖師の御影は拭はれにけり

日の出前薄雪懸かる東山祖師の遺跡知恩院もまた

今日の日は名号軸の親授式吉水講の新たな歴史

授かりし名号軸を抱きかかへ夜の電車の席を動かず

知恩院吉水講六十周年記念名号軸親授式の翌日自坊本堂に軸を掛けて詠める歌一首

月かげの詠歌唱へて頂きし名号軸は我が寺にあり

春来たり賀茂の河原の柳には今年の若葉吹き出でにけり

桜花匂ふ東京増上寺詠唱人と集ふは楽し

木曾川も揖斐も長良も水光る今年の米の味はひ良かれ

三門を巡り巡りて音頭舞ふ御忌奉納の心満たして

茶畑と早苗田光るこの五月駿河の国の人々は幸ひ

静岡の駅のホームの顔見ればマスク四割意識の危険

豊橋は思ひ豊かな橋の町住む人々の心行き交ふ

梅雨空の伊良湖岬を訪ぬれば発電風車翼回れり

六月の二十二日の御廟にて選択集を拝して読めり

夏休み少年達の知恩院南無阿弥陀仏の声の勢ひ

知恩院三門辺り蝉時雨清々しきは心中にあり

待ち焦がれ瑠璃紺色の夏の空幼き頃の記憶のままに

バイク乗り稲田の道を駆け行けば若き雀の並び飛ぶ見ゆ

豊橋の牟呂の市場の盆踊り青年団はやぐらを作る

彼岸前秋の小雨の知恩院訪なふ人の傘の揺らめき

長良川鉄橋渡る車中にて八月十五満月を見る

十月の風無き朝の知恩院微かに変わる木々の葉の色

新しき舞発表の知恩院遠忌和讃の声は高まる

仰ぐ手はそのまま拝む手となりぬ遠忌和讃の舞の姿は

バス乗りて集ふ大垣市民館詠唱人の声の高まり

## 第43回 豊橋組おてつぎ信行奉仕団

去る10月7日に第43回豊橋組おてつぎ信行奉仕団に参加して来ました。

参加者は次の皆さん。

岡田 芳視（18）、大木 則子（17）、今泉 千代栄（17）、  
安藤 はるゑ（10）、杉浦 敏子（7）、河合 正恵（5）、  
岡田 行弘（1）、岡田 良子（1）

（カッコ内は回数。敬称略）



平成21年10月7日  
三河教区豊橋組主催第43回おてつぎ信行奉仕団  
に参加された普仙寺檀信徒の皆さん

## 寺行事案内

### 土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

#### ◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

#### ◇法然上人御法語の予定

11月14日からは

- 前編第22章 無常迅速
- 前編第23章 一枚起請文
- 前編第24章 別時念仏
- 前編第25章 導師嘆徳

### 月並法要（つきなみほうよう）

平成21年12月8日（火） 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

### 成道会（じょうどうえ）

平成21年12月8日（火）

お釈迦さまがお悟りを開かれた日。「成道讃」をお唱えしてお祝いします。

